

# フレッシュアップ コミュニケーション

## 東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内

同窓会会長 古谷顯史郎

'23.8

### 創立76年を迎えて 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、平素より同窓会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、皆様のご協力とご支援により創立75周年記念事業として、体育館の床は五輪仕様の素晴らしい品質に改修され、音響改善工事も終了致しました。3月14日に開催された記念式典は、コロナの影響を考慮し小規模になりましたが、開会式と閉会式時には、旧竹早中学、旧追分中学、現竹早中学校の校歌が流れ75年の歴史を感じさせられました。

演奏会では、ピアノ・大室さん(44期)、コントラバス・菊池さん(41期)の素晴らしい演奏がありました。出席した3年生は、卒業生の多様性を肌で感じた事と思います。

また、75周年記念として同窓会名簿を発行させて頂きました。皆様の親睦に役立てて頂ければ幸いです。

同窓会総会は、10月14日(土) ランチルームで45期の幹事により開催致します。

総会後の親睦会は、お酒の提供は有りませんが、久しぶりに軽い飲食が出来るかと伺っております。多くの会員の皆様に出席頂きたいと思っております。

学校の教育研究に付いては、「多様性の教育」の書籍が出版され、自治体と連携したCCSSプロジェクトも成果を出しており、学校の教育力を発揮したと思えます。「未来の学校 みんなで創ろうプロジェクト」は、企業と連携し、旧数学教室がSUGOI部屋(前面に大スクリーンが有り授業の効率化が出

来た)に、旧PCルームは生徒のアイデアを取り入れたDルーム(多目的ルームで内装は、生徒、先生のDIY)となりました。1月20日に公開研究会が行われ企業、大学、教育委員会、幼少中の先生を入れ300名の参加があり充実した会になったと聞いております。

今後は、地域や同窓生との連携が進むよう期待したい所ですが、文科省の予算削減で中途半端で終わるといふ問題が起きました。このプロジェクトは全国唯一竹早中学校で行われており10年後の学校教育を提案(公開)して行く研究でした。そこで、竹早独自の研究として継続する事が決まり教育後援会「創竹会」と詳細に付いて協議を行っています。その内容に付きましては、9月の常務理事会で検討させて頂きます。

結びになりますが、今後とも、名簿の管理及び同窓生の親睦と母校の竹早らしい発展を出来る限り協力、支援、応援をして参ります。会員の皆様のご健勝を祈念すると共に、一層のご協力とご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。

## 令和五年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第45期(平成5年度卒業)

○日 時/令和五年10月14日(土)

【受付開始】14時00分より

【第一部:総会】14時30分~15時00分

【第二部:懇談会】15時10分~16時00分

同窓会総会後の懇談会では、全同窓生と飲食やお茶を楽しみながら、歓談・レクリエーションなどを予定しています。詳しくは10月以降に同窓会ホームページをご確認ください。

竹早中 同窓会 🔍 検索

○会 場:竹早小学校 ランチルーム

○会 費:2,000円

また学校で会いましょう



ご出欠ハガキの返信期限 9月20日(水)

## ご縁の深い中学校との新たな歩み

学校長 馬場哲生



本年4月に竹早中学校校長に就任いたしました馬場哲生と申します。日頃より同窓会の皆様からは温かいご支援をいただき感謝申し上げます。

この場をお借りして、簡単に自己紹介をさせていただきます。私の専門は英語教育です。母語の習得と外国語の学習を比較すると、特に音声と文法に関して、

母語は、意識せずに、努力せずに、完全に習得することができるのに対して、外国語は多くの場合、意識して、努力して、不完全にしか習得できない、という違いがあります。母語の習得の過程は奇跡とも言えるのですが、外国語学習においては、この奇跡は条件が揃わないと起こりにくくなっています。でも、たとえ奇跡が起こらなくても、効果的な学習方略と努力によって、かなりのところまで到達することはできます。その習得を導くことが外国語教師の主たる役割であると言えます。また、外国語教育には、言語や文化への気付きを促し、文化間コミュニケーションを促進するという役割もあります。

さて、私は学芸大学には1998年に赴任しました。現在は教職大学院に所属

し、教職大学院生を中心に、学部生、博士課程の院生など、様々なバックグラウンドを持った学生の皆さんと過ごしています。現職教員との接点も多く、中でも竹早中学校とは、毎年教育実習生の研究授業の参観に訪れてきたほか、幼・小・中連携プロジェクトに関わっていたこともあり、ご縁の深い学校です。

竹早中学校には自主性を重んじる校風が根付いていて、教員は創意工夫を発揮して指導を行い、生徒の皆さんは主体的かつ積極的に学習に取り組んでいます。一方で、設備の老朽化に伴い各所で更新・修繕が必要になってきており、国からの運営費交付金が減らされている中で、安全かつ時代の要請に応えられる学習環境を整えるためには、同窓会の皆様からのご支援がますます大切になっております。皆様からのさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 同窓生の思いの結実

副校長 森 顕子



日頃より竹中の子どもの達の教育への大きなご支援をいただいておりますことをまず、心より感謝申し上げます。

昨年は、本校の創立七十五周年にあたり、本年三月に、床と音響設備の改修を終えた体育館で記念式典を挙行いたしました。コロナへの感染対策を徹底しつつの演目を絞りできる限り短時間で、

といったものではありませんが、大学からは学長の國分充先生からご祝辞を賜り、古谷会長からは、同窓会と教育後援会双方を代表して温かいお言葉をいただきました。学校にとっては、周年行事というものは、伝統を新しい世代へ継承していくことの象徴という意味でも、ごく大切な行事です。

式典は厳かに、その後、四十一期生菊地晃子さん（コントラバス）と四十四期生大室晃子さん（ピアノ）により行われた記念演奏会はすばらしいものでした。

また、記念品として、生徒が考案した扇子と、旧竹早・追分と現在の校歌を収めたCDを製作することを計画しました。扇子は、現在、Dプロジェクトといた、生徒が自主的にプロジェクトを立ち上げて活動している中で、企画考案さ

れました。扇子には、校舎と泰山木、オリジナルのロゴが描かれています。なぜ扇子だったのか、というと、使い勝手がよいことありますが、扇子の中骨は七・五cmあり、その素材は竹であることが決め手と聞きました。

一方、CDには、合唱部と有志による旧竹早中と追分中の二つの校歌と、七十四期生による現在の校歌の合唱と大室さんのピアノインストゥルメンタル（長生淳氏編曲）が納められています。旧校歌は伴奏譜がなかったため、長生氏にこれも作っていただきました。そこで、ようやく、歌詞の入った音源として、三つの校歌を残すことができました。そして、このCDについては、全面的に同窓会のご支援で完成されたことに心からの感謝を申し上げます。

代表生徒である七十四期生小林葉子さんの言葉に、「個性を磨くおらかな校風、生徒を理解し様々な挑戦ができる」とありました。さらに、卒業生のお二人からは、「まだ何者でもない自分たちの背中を押してくれた個性尊重の校風のもと、たくさんの可能性があり未来がある皆さんに、在学中に自分の個性を磨いて



「いつてほしい」という後輩への言葉が演奏と共に届けられました。様々な形(実は、式花も卒業生が手がけてくださっています)で同窓生が母校を支えてくださっていることに、同窓生の一人としても本当にうれしく思っております。これからも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 新任・退任の先生挨拶

### ●退任あいさつ

前校長 藤本光一郎



3月末で校長を退任し、大学教員も定年退職いたしました。在任中には古谷会長ほか同窓会の皆様には、ほんとうにお世話になりました。特に3月14日の創立75周年記念式典は、卒業生お二人の記念演奏と母校への気持ちのこもったお話も素晴らしく、子どもたちにとって印象深かったと思います。同窓会の強い絆と実力に改めて感銘を受けた次第です。同窓会のご発展を祈念するとともに、改めて御礼申し上げます。

八坂 弘



竹早の皆さん、今までありがとうございます。今年度から都立豊島高校で数学科の教員として勤めております。皆さんと再会したときに、また成長した姿を見せられるように、日々精進いたします。一年間ありがとうございました。

齋藤 司



昨年度は大変お世話になりました。教職一年目で不安なことばかりでしたが、生徒の皆さんと交わした何気ない会話や、日々成長していく姿がいつも心の支えになっていました。一年間という短い間でしたが、竹早中学校で過ごした時間は何れも大切な思い出です。支えてくださった保護者の皆様、先生方、生徒の

### ●新任あいさつ

後藤 藍輝



今年度の4月より竹早中学校に赴任いたしました。後藤藍輝と申します。担当教科は数学で、1年C組の担任と水泳部の顧問を務めております。昨年度までは埼玉県の公立高校で勤務していただき、初めて担任する中1の無邪気さ・素直さに心洗われる気持ちでこの数か月を過ごしてきました。徐々に竹早独自に文化・行事に慣れつつありますが、まだまだ右往左往する場面も多々あります。保護者の皆様・同窓会の皆様には何かとご助力賜ることになるかと存じますが、何卒よろしくお願いたします。

## 母校PTA文化厚生部からのお願い

今年度は大変お世話になりました。教職一年目で不安なことばかりでしたが、生徒の皆さんと交わした何気ない会話や、日々成長していく姿がいつも心の支えになっていました。一年間という短い間でしたが、竹早中学校で過ごした時間は何れも大切な思い出です。支えてくださった保護者の皆様、先生方、生徒の

# 学び舎の、きおく



45期生が卒業してから、30年がたとうとしています。竹中生だったころの記憶は、ある部分で鮮明に、またある部分ではぼんやりと、私たちの中に残っているでしょうか。この学年は、4人の先生方が入学から卒業まで変わることなく見守って下さいました。そんな先生たちが記憶の引き出しをそっと開け、にぎやかだった日々を思い出してくれました。

## 45期の思い出

伊藤雄二



私的な話で恐縮ですが、私は43年以上の教員生活の中で、ざっと見積もっても数千人の生徒さんとの出会いがありました。竹早中学校45期の皆さんとの出会いは、約32年前です。正直に言いますが、数千人の中から皆さん一人一人を思い出すのは、簡単ではありません。しかし、不思議なことに、アルバムを見ていると当時のことが鮮明に蘇ってきます。高萩大心苑の開村式、オリエンテーリングの迷子捜索、田植え後に足を洗った水の冷たさ、真夜中の民宿外散歩、西陣織体験、佐々木先生の足のケガ！そして、ムカデ、騎馬戦、棒倒し、フィールド・アスレチック入水、合唱コンクール等々……。記憶の中に登場する皆さんは、なぜかいつも笑顔です。その理由を、いろいろと考えていると、もう一つ大切なことを思い出しました。それは、学級担任4人の仲の良さです。佐々木先生、阿部先生、荒井先生、そして私（伊藤）、4人の学年会議では笑いが絶えませんでした。さっと、その笑いが45期の皆さんに伝わったのかもしれない。今でも、4人で会うと笑いが絶えません。これ、ホントの話！

## 仲の良さと自主性

荒井正剛



45期は、学区域がそれまでの東京23区から、その周りの地域まで大きく広がった最初の学年でした。特に進学指導では、埼玉、千葉、神奈川県立・私立高校の入試への対応などで苦労しました。生徒どうし仲が良く、結婚した人もいますよね。私たち担任団も仲が良く、三年間同じメンバーで持ち上がり、よく一緒に飲食を楽しんだりしました（皆さんの卒業後も！）。男性ばかりの担任で、皆さんにはどうだったかわかりませんが。皆さんが過ごした学び舎は古く、壊れそうでしたが、立派な木材を使った味がある学び舎でした。学び舎は変わっても、米田さんが創立60周年記念誌に寄せられた文章にある「生徒の自主性を重んじる校風」は変わっていないと思います。竹早の「自ら求め考え表現し実践できる生徒」という教育目標は、今の教育界の目標になっていて、竹早の先進性を確認できます。また、補永さんは創立50周年記念誌で「竹早には歌が溢れています」と書いています。たしかに！コロナが落ち着いた今、皆さんで校歌を歌いたいですね。



## 雄々しく、楽しい日々

阿部眞士

竹早中学校を60歳で退職していつの間にか10年が経ちましたが、65歳で定年退職してからの5年は毎日が日曜日のようにのんびり休養しています。3年間のコロナ禍での生活もあるのですが、定年後は自宅から半径2キロの範囲で行動し、地元作家と作品発表してひっそり生活しています。何もしないでゆっくり歩く「人生はアナログで」が心地よいです。

45期生の入学年度から通学区域が都内23区の外まで広がったと記憶していますが、帰国入学のみならず一般入学の生徒も個性豊かな面々が多く楽しませてもらいました。高萩や金山での校外学習、文研自由研究や合唱コンクール指揮伴奏と部活展示、運動会にオリエンテーリングが好きな学年でした。

高校入試の地域も広がり学校訪問や進路指導も苦労しましたが、佐々木先生を中心に担任男4人が騎馬を組んでの三年間は雄々しくもありました。45期生はその頃の私たちの年齢を超えたのが夢のようです。



## 30年前の記憶

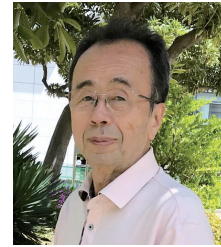
佐々木棟明

45期生は4人の担任が3年間、全員同じという竹中ではとても珍しい学年でした。そのため3年間同じ担任になる生徒が各クラス5、6人いました。

一方、担任同志の関係も密になり、4人でよく飲み会をしていました。このたび卒業生に会える楽しみと同時に、コロナ騒ぎもあって、しばらく会っていない元同僚に会えるのも楽しみです。

同期会の連絡をもらってから、30年前のアルバムをめくりましたが、生徒の名前は思い出せなくてもそれぞれの特徴は結構記憶しているのに驚きました。アルバムはまさにタイムカプセルですね。

皆さんの卒業時に、私は45歳でした。それが8月に76歳になります。ほとんど社会との交流がなく過ごしている今の自分が、あのような学校という大きな集団の中にいたことが夢のような気がします。もちろん後期高齢者の今の生活も結構気に入っています。



## COLUMN 竹早生の「いっぷく」亭

東京に唯一残る路面電車の都電荒川線。その途中駅「庚申塚」の元祖「エキナカ」として、45期の神宮隆久さんが営むいっぷく亭はあります。都電をおりて、お店を不思議そうのぞく人もちらほら。中に入ると、神宮さんのお母さんがつくる、絶品のおはぎの甘い香りが漂います。

そんな神宮さんのお店が、同窓生たちの憩いの場になっています。海外に渡っていた友人が帰ってくる、久しぶりに仲間が集まって学生時代を懐かしむ——。そんな機会があるたびに同級生たちは声をかけ合い、店に集まるのです。竹早生が紡いできた温かいつながりを、きっとみなさんも感じられるのではないのでしょうか。

### ◆ DATA ◆

#### 甘味処 いっぷく亭

東京都豊島区西巢鴨2-32-10 電話/03-3949-4574  
営業時間/10時00分～18時00分  
定休日：なし（臨時休業あり）

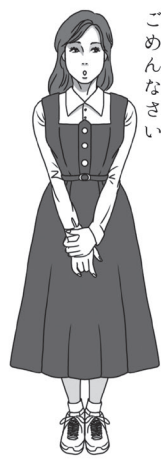


店主の45期神宮隆久さん（左）と母の圭子さん

掃除当番「校庭」の時  
何もしないでサボってました。



でも学んだ事が沢山あります



授業中トランプしてました  
ごめんなさい

コラム・田村彰子 イラスト・田崎和子

## 令和4年度 同窓会総会報告



令和4年10月29日(土)、中学校体育館を会場に令和4年度同窓会総会が開催されました。出席者は64名で、コロナ禍ではありましたが、感染対策をしながら、昨年引き続きリアル開催で行われました。総会は滞りなく議事が進行し、次年度に向けた計画案も承認されました。飲食を伴う懇親会はまだ開催することができない状況で、講演会ということで、担当当年次同期の大野公二君に依頼し、「なぜその選択をしたか」ニユースの見方」と題して、現役テレビ朝日の報道番組プロデューサーとして、報道番組の裏話などを大変興味深く、ユーモアを交えながら話をしてもらいました。また、幹事年次の担任であった、柴田俊和先生、岩瀬三千雄先生、勝岡幸雄先生、森顕子先生(現副校長)からご挨拶をいただき、最後は竹早中学校校歌を全員で斉唱し、終了となりました。

担任の先生方にも顔を出していただき、楽しい時間を過ごすことができました。(文責 44期菅谷哲史)

講演会の後、茗荷谷のお店で44期の同期会を行いました。お世話になった



## 維持会費同窓会支援寄付金 ご協力のお願

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる(同窓会会則22条)。2022年度の収入は約312万円、支出は約472万円でした(2022年度会計報告参照)。収入内訳は、入会金142万円、維持会費約92万円、同窓会活動支援寄付金約77万円、その他約1万円でした。

維持会費は、毎年2000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく(毎

## 令和5年度 同窓会常務理事

会長	古谷顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	正野 敬子	19
総務部	白江 千治	26
	白石 英行	31
事業部	神沼 厚史	40
	田中 充	29
	野島 雅	41
	高島 裕	36
広報部	田上 陸美	33
	田近 孝之	43
名簿部	安井 肇	19
	根本 律子	31
	関根あすか	36
会計部	永井真知子	19
	石黒由香里	26

## 同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今年度は次のような備品に使わせていただきました。

- ノートPC(ロボット・プログラミング部)
- アンテナ(バレーボール部)
- 井草ラグ・置き畳(百人一首部)
- チューバ(吹奏楽部)
- 冷蔵庫(卓球部)
- 全国大会補助・交通費等(水泳部)
- 1C 鯨井あぐり(宮城大会)

少しずつ部活動も活動の幅を広げております。運動部も試合の機会が増えてきました。文化部につきましても、個性豊かな活動が先生方によって支えられています。例年、御支援を賜り、感謝申し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。





## 総務部より

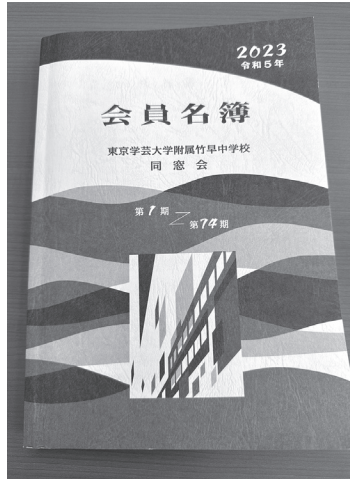
### ■同窓会名簿販売について

創立75周年を記念した「2023年版同窓会名簿(冊子版)」を作成致しました。

同窓生の交流を図るツールとして、振込用紙よりお申し込み下さい。

なお、今回より電話番号の記載はありませんのでご了承下さい。

2023年版同窓会名簿(冊子版)  
価格5000円(名簿代+送料+R5年度維持会費)



### ■年次委員の皆様へ

「2023年版同窓会名簿(冊子版)」作成に当たり、2021年に年次委員の皆様にご協力賜りましたデータを元に、2022年にフレッシュアップ発行時の返信ハガキにて再調査を実施し、データ更新を行いました。

ご協力頂きました皆様には感謝申し上げます。

### ■名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメール及び同窓会ホームページより、データ提供をいただいた場合に更新致します。

・自分の住所等の変更があった時  
・2023年版名簿に記載誤りがある時  
・2023年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となります。

連絡先  
〒112-0002  
東京都小石川4-2-1  
東京学芸大学附属竹早中学校  
同窓会総務部 白石 英行 宛  
E-MAIL bunkyo@maine.jp  
HP: www.takehay-a-jhs-dousoukainet



同窓会 HP

④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

■同期会開催へのデータ提供について  
各年次委員に限定し、提供致します。  
右記の総務部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

## 2022年度 会計報告

(自2022年4月1日  
至2023年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	10,031,731	Ⅲ 本年度支出	4,720,554
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,436,295
普通預金	2,001,862	総会・講演会開催費	29,522
郵便貯金	4,996,876	常務理事会費	53,130
小口現金	32,993	総務費	22,380
		文書事務費	8,630
		郵便連絡費	78,684
		慶弔費	56,500
Ⅱ 本年度収入	3,123,095	卒業記念品代	115,005
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,420,000	名簿作成費	1,809,500
同窓会活動支援寄付金	768,000	名簿入力・追録費	
		ホームページ作成・維持費	123,218
		75周年記念行事費用	387,690
維持会費	924,000	差引残高	8,434,272
預金利息	95	Ⅳ 次年度繰越	8,434,272
名簿売上	3,000	【内 訳】	
70周年記念誌売上	4,000	定期預金	3,000,000
クリアファイル	1,500	普通預金	2,162,834
マグカップ	2,500	郵便貯金	3,190,735
		小口現金	80,703
合計	13,154,826	合計	13,154,826

注:(1)送料を含む

## 2023年度 予算案

(自2023年4月1日  
至2024年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	8,434,272	Ⅲ 本年度支出	4,430,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
普通預金	2,162,834	総会・懇親会費	500,000
郵便貯金	3,190,735	常務理事会費	60,000
小口現金	80,703	総務費	120,000
		文書事務費	70,000
		郵便連絡費	250,000
		慶弔費	90,000
Ⅱ 本年度収入	3,600,100	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,500,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	名簿入力・追録費	170,000
		ホームページ作成・維持費	130,000
維持会費	800,000	75周年記念CD作成費用	700,000
預金利息	100	差引残高	7,604,372
名簿売上	800,000	Ⅳ 次年度繰越	7,604,372
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,050,000
		郵便貯金	2,500,000
		小口現金	54,372
合計	12,034,372	合計	12,034,372

注:(1)送料を含む

## 創立75周年記念事業報告

本校74期生にとっては在校残すところわずかとなる桜が開花した令和5年3月14日、竹早中学校75周年記念式典および演奏会が開催されました。記念式典では、藤本旧校長・國分学芸大学学長・PTA会長・古谷会長および在校生代表より辞を頂戴しました。記念品は、オリジナルデザイン扇子と記念CDを配布しております。記念CDには、①竹早中学校現校歌 ②追分中学校校歌 ③竹早中学校旧校歌 ④竹早中学校校歌・ピアノソロ版を収録しております。①は三年生による四部合唱を収録、②・③は、後述の長生淳氏によるアレンジであり、内藤圭太教諭指揮・中野未穂教諭伴奏・合唱部+による復刻版となります。④は、同氏によるピアノソロ編曲作品の記念演奏会ライブ録音版となります。記念式典を通してご尽力頂きました森顕子先生、演奏会開催に向けて多方面からご協力いただきました(株)アーティフィニティの北山絵美様、演奏会で素晴らしい音を届けて頂いた41期菊地晃子さん44期大室晃子さんに御礼申し上げます。お二人のリハーサルの風景を伺っていると合唱コンクール前夜を彷彿させるようでした。

今回の役回りは、本校50周年記念事業をご担当されていた7期二瓶好正先生(顧問)との出逢いから確実にバトン

繋いだものです。今後とも折り合いに添じて、母校が卒業生を受け入れることのできるよう、未来に繋げていけるよう努力して参ります。(事業部 野島 雅)

\*\*\*\*\*

副校長先生の森顕子先生(44期生の担任の先生でした!)から、「竹早中学校75周年の記念行事で、41期のコントラバス奏者の菊地晃子さんと演奏してもらえないかな?」というお話をいただいたのは昨年10月の同窓会総会の時でした。

お声をかけていただいた喜びを胸にプログラムを考え、コントラバスとピアノの魅力を伝えるプログラムとともに、「中の校歌をピアノ曲にかっこよくアレンジしていただいて、それをお披露目しよう」という結論に至り、「行列ができる作曲家」の異名を持つ長生淳さんにアレンジをお願いしました。



長生さんの曲は、「揺らぎ」を感じさせるハーモニーやリズムが絶妙です。人の感情は、一つにとどまらずに常に揺らぐものですが、音そのものでこの絶妙な揺らぎを表現するのが長生イズムだと思います。出来上がった曲を練習しながら、

竹早での「四季」と人生の「四季」を紡ぐこの素晴らしいアレンジに、在校時のさまざまな思い出が蘇ってくる気持ちでした。今後も同窓生や在校生に弾き継がれていき、たくさん再演されますように!

式典当日、在校生の深刺とした姿目の当たりにし、そして私の担任の先生であった岩瀬三千雄先生、勝岡幸雄先生にもお会いできた幸せに胸がいっぱいでした。

竹早中学校のこれから先の百周年に向けて、更なる発展を遂げることを願って止みません。

75周年の式典という大変な事業を二手に引き受けまとめて下さった記念事業部の担当者様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。(44期 大室晃子)

### 創竹会から「特別寄付」のお願い

創竹会副会長 高島 裕

創竹会は竹早中学校の教育後援会として日々活動しており、これまでも体育館の床改修等や新型コロナウイルス対策費用を支援して母校の環境改善に役立っております。

同窓会の皆様には、5年後の創立80周年事業に向けた「特別寄付」へのご高配を賜り、更なるご支援をお願い申し上げます。

#### 「特別寄付」制度概要

##### 1 目的

東京学芸大学附属竹早中学校の教育振興・充実等のため

##### 2 募集対象

全校生徒保護者、同級生、賛助会員、一般個人・法人

##### 3 受付期間

通年の募集  
大学からの「寄付領収書」手続きに時間を要するため、2023年度(1月~12月)確定申告に必要な「寄付領収書」の発行を希望される場合は、9月30日までに振込をお願いします。

##### 4 受付金額

1口10,000円  
(二口以上、何口でも結構です)

##### 5 支払方法

ゆうちょ銀行振込同封の「竹早中学校教育後援会(特別寄付用)」と表記のある振込票を必ずご使用下さい。振込手数料は誠に勝手ながら各自ご負担願います。

※大学からの領収書が届くまで、振込受領書を大切に保管して下さい。

同窓会ホームページをご活用ください。  
<http://www.takehaya-jhs-dousoukai.net/>